

絹の道

令和元年 9月14日土 ~ 11月17日日

養われ
る蚕 むし
自養
する蚕 むし

 AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM
安曇野市豊科郷土博物館

<http://azuminohaku.jp/>

開館時間 / 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料 / 高校生以上100円 (20名以上の団体は1名につき80円) ※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方は無料

休館日 / 月曜日 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日

絹の道 ～養われる蚕・自養する蚕～

家蚕も天蚕も、一時期安曇野市域の代表的な生産品として名を馳せましたが、第二次世界大戦前後から現在にかけて、どちらも衰退の一途をたどっています。安曇野の地域を支えた一大産業であった養蚕に焦点をあて、その歴史と役割を再検討して展示をいたします。

関連イベント

開館40周年 特別記念講演会

養蚕の信仰と習俗をめぐる ～信州と上州の事例を中心に～

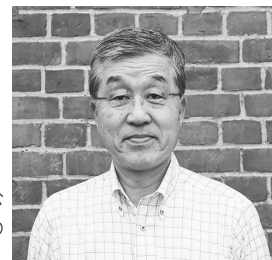
10月5日(土) 13:30～15:30

いたばし はるお
板橋 春夫氏 (日本工業大学教授)

- [会場] 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- [定員] 120名(先着順) [参加費] 100円
- [申込] 前日までに博物館へ電話で申し込み

板橋 春夫氏プロフィール

1954年群馬県生まれ。
現在、日本工業大学建築学部教授。
博士(文学・筑波大学)。
専攻は民俗学。



國學院大學法学部卒業後、地方公務員(図書館・公民館・広報など)のかたわら民俗の調査・研究を続ける。養蚕民俗が研究のスタートであるが、現在は生老病死に関わる通過儀礼を主な研究テーマとしている。また、祭祀調査を通して地域文化にも目を向ける。大学では、住まい文化論、祭祀と儀礼の建築空間の講義をしている。著書に『誕生と死の民俗学』(吉川弘文館)、『叢書ののちの民俗学1 土産』『同2 長寿』『同3 生死』(以上社会評論社)、『群馬の暮らし歳時記』(上毛新聞社)などがある。

関連講座・ワークショップ

まゆ 繭をつかって遊ぼう!つくろう!

9月16日(月祝) 10:00～11:30

- [講師] 倉石あつ子(当館職員)
- [会場] 豊科郷土博物館学習室
- [対象] 小学生と保護者
- [定員] 30名(先着順)
- [参加費・材料費] 500円
- [申込] 8月25日(日)～前日までに博物館へ電話で申し込み

天蚕糸入りの
コースターを
ハンドメイド♪

天蚕林と天蚕センターを 見学してみませんか?

9月28日(土) 9:30～12:00

- [講師] 倉石あつ子・松田貴子(当館職員)
- [会場] 有明天蚕圃場林～天蚕センター～当博物館
- [定員] 20名(先着順)
- [参加費] 30円(保険代)
- [申込] 8月25日(日)～前日までに博物館へ電話で申し込み

ギャラリートーク&虫食うかい(会)?

10月12日(土) 1回目 10:00～/2回目 13:00～

- [講師] 倉石あつ子(当館職員)
- [会場] 豊科郷土博物館学習室
- [定員] 各回とも20名(先着順)
- [参加費] 100円
- [申込] 8月25日(日)～前日までに博物館へ電話で申し込み

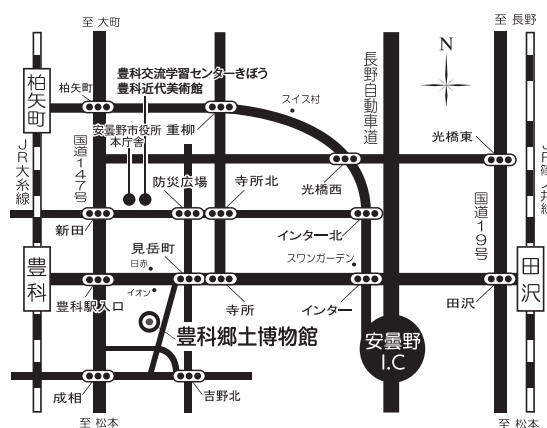
信州の昆虫食、
ちょっと味見して
みませんか?

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM
安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8 TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

<http://azuminohaku.jp/>

■アクセスマップ



JR大糸線豊科駅より徒歩15分 JR篠ノ井線田沢駅より車で10分
長野自動車道安曇野I.Cより車で5分